

歯科

訪問診療ハンドブック

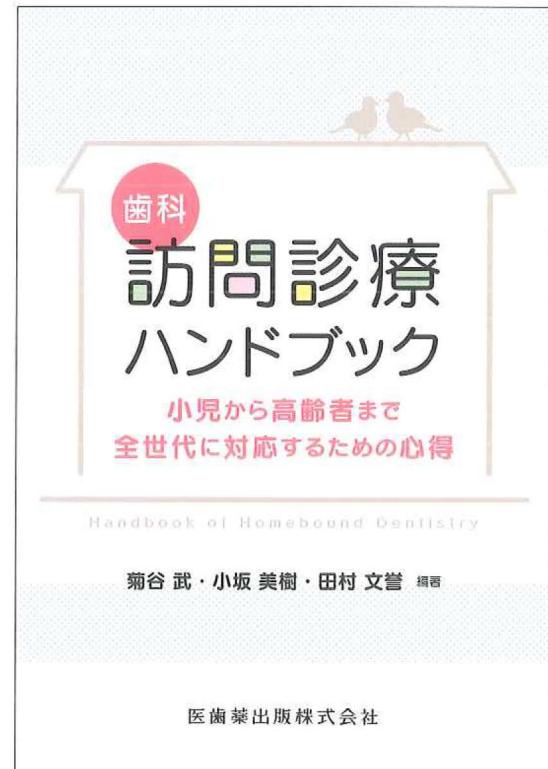
小児から高齢者まで
全世代に
対応するための心得



菊谷 武・小坂美樹・田村文薈 編著

松村香織・高井理人・山田裕之 執筆

- B6判／280頁／2色
- 定価 5,500円（本体 5,000円+税10%）
- ISBN978-4-263-44681-2
- 注文コード: 446810



歯科訪問診療で、小児患者・高齢患者の生活を支援するための
すべての“心得”が、ここに

● 携帯に便利なB6サイズ。持ち運んで、訪問前・診療前に必要な情報を確認できます。

● 小児・高齢者ともに「基本的配慮」「疾患」「症状」「主訴」「患者の状態」の項目に分けて解説。さまざまな状況に対応できます。

● 「まず押さえるべき心得」のほか、「ここをチェック!!」で、全身の診るべきポイント、歯科的対応の注意点、多職種連携の要点など、大切なポイントをチェックできます。

SECTION 1 疾患

01 認知症

菊谷 武

まず押さえるべき心得

①認知症のタイプを知る
②認知症のステージを知る
③痴呆障害の原因疾患であることを認識する
④必要な歯科治療は先送りにしない

1 治療方針の決定に配慮すること

・アルツハイマー型認知症は経過が長い（発症から8～12年）ために、長期にわたる介人が必要で、治療内容や管理内容を適宜状態の変化に合わせて変えていく。
・認知症がやや重症となると、治療に対する拒否が起こる。積極的な歯科治療が可能なのは、発症後3～5年程度までである。治療可能な時期を選択してはいけない。
・中程度（発症から5年程度）となると、口腔衛生管理の自立が困難となり、義歯の管理（清掃管理、着脱など）にも問題が生じることを考慮する。
・重度になると咀嚼障害の原因は運動障害によるものとなるために、天然歯咬合の存在や義歯による咬合回復の意欲は著しく低下する（咀嚼作用を義歯の代わりにしない）。
・さらに重症となると嚥下障害をきたすため、誤嚥性肺炎のリスクが高まり、口腔衛生管理の重要性が増す。
・重度になると出現する原反射の再出現は、くいしばり、かみしめ、歯ぎしりなどを誘発するため、歯科装置の接着脱落、天然歯の剥離。

成程が起こる。歯や補綴装置の誤飲事故が頻発するため、兆候がみられたら、植筋装置除去や抜歯を積極的に行う。

- ここをチェック!!
- 積極的な治療ができる期間はどのくらいあるのか（認知症のタイプとステージによって異なり）
 - 痴呆障害の原因は何か
 - 生命予後はどのくらいか
 - このような状態まで見守可能か
 - 既往歴の再出現はあるか

2 歯科医療を行う上で配慮すること

- ・脳血管性認知症の場合、脳血管障害の治療、再発防止のために、服薬管理されていることが多く、出血傾向や痴呆高齢のモニタリングが必要である。
- ・患者は意思や訴えの表出、特に言語による表出が困難になるため、患者の訴えがなくとも医師による摸索や炎症がみられる歯や歯根の有無があることが多い。
- ・治療拒否に伴う患者の意図な行動が起こるかを知ることで、患者と歯科スタッフの安全を確保する。

- ここをチェック!!
- 内臓器、口腔内の状態と患者の訴える内容の検討
 - 口腔生息におけるケニアの拒否などの存在を知る（家族やケアマネジャーからの情報収集）
 - ADLの低下や認知機能の低下がどの程度か
 - 家族の介護力はどうか

本書とともに、「さあ、お家に行こう、私たちを待っている人たちのいるお家へ」（本文より）

CHAPTER 1 疾患・症状・主訴から引き訪問診療の心得 在宅の“高齢者”

SECTION 0 基本的配慮（高齢者）

SECTION 1 疾患

認知症／神経変性疾患①筋萎縮性側索硬化症（ALS）／神経変性疾患②パーキンソン病／循環器疾患／呼吸器疾患（慢性閉塞性肺疾患[COPD]、気管支喘息）／糖尿病／慢性腎臓病／脳卒中／自己免疫疾患／骨粗鬆症／頸骨壊死／

COLUMN 01 認知症と口腔ケア～臨床倫理の観点から

SECTION 2 症状

誤嚥性肺炎／摂食嚥下障害／終末期の口腔内／インプラントに出会ったら

SECTION 3 主訴

むせる／体重が減った／形あるものを食べたい

SECTION 4 患者の状態

血圧が高い／意識が朦朧としている／人工呼吸器を装着している／ステージ別の患者管理／終末期の患者管理

COLUMN 02 患者や家族の訴え

CHAPTER 2 疾患・症状・主訴から引き訪問診療の心得 在宅の“子ども”

SECTION 0 基本的配慮（子ども）

SECTION 1 疾患

脳性麻痺／染色体異常症／筋疾患／代謝疾患／子どもの悪性腫瘍／骨系統疾患

SECTION 2 症状

呼吸障害／重症心身障害児（者）のてんかん／摂食嚥下障害

COLUMN 03 患者の経過を追う

SECTION 3 主訴

① 口腔に関する問題（触れられることへの拒否がある／口腔ケ

アの方法が知りたい／歯が摇れている・歯が生えてこない／歯石が付いている・歯磨きで出血がある／むし歯がある
② 食べることの問題（摂食機能療法）（口から食べてほしい／食べさせ方をみてほしい【姿勢調整】／食形態は合っている？）

SECTION 4 患児の状態

生体情報モニターのアラームが鳴ったらどうする？／筋緊張への対応／心疾患の管理～SpO2が低い時どうする？／経管栄養中の症例への注意／しっかり押さえておきたい！子どもの様子／診療のセッティングとポジショニング／子どもの看取り

CHAPTER 3 訪問診療を始めるための 7の心得

患者に関わる医師は何をしている？／“他職種”に歯科はどう混ざれば良い？／依頼元から考える必要な情報とは？／何を持っていけば良い？／初回訪問の時に気を付けること／伝わる言葉の使い方～患者・家族・他職種への説明／訪問だけで全部やらなくても良い

卷末対談

気になる歯科訪問診療のアレコレ
高齢者ならどうする？
子どもならどうする？

関連書籍



歯科が活躍する

ミールラウンド&カンファレンス
高齢者の「喰めない」「食べない」に
訪問診療で取り組むためのガイドブック

菊谷武編著／高橋賢晃・戸原雄・尾関麻衣子著

- B5判／152頁／2色
- 定価 5,500円（本体 5,000円+税10%）
- ISBN978-4-263-44564-8
- 注文コード：445640

医歯薬出版 ご注文承り書

歯科訪問診療ハンドブック 小児から高齢者まで全世代に対応するための心得

注文コード 446810 () 冊

歯科が活躍するミールラウンド&カンファレンス

注文コード 445640 () 冊

●納入店ご指定希望
※納入店のご指定の場合
手数料はかかりません。

ご指定納入店名

●直送希望
(2つの方法から)
① 代引 450円
② 後払い 400円

※直送は、注文書到着の翌営業日（土日祝日除く）に発送します。②の請求書は（株）ネットプロテクションズから別送します。14日以内にお支払いください。返品は受付できません。

●お名前

●TEL

●ご住所（〒　　ー　　）

★必要事項をご記入のうえ、FAX 03-5395-7633にご送信ください。★弊社ホームページ<https://www.ishiyaku.co.jp/>からもご注文いただけます。

医歯薬出版株式会社 〒113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10 TEL03-5395-7630